

Institute of Sport Symposium Legacy of Sport vol.14  
専修大学スポーツ研究所シンポジウム2021

2021年12月16日(木) 15:00～17:15 延長あり

方法：オンライン対面ハイブリッド方式  
会場：専修大学生田キャンパス  
蒼翼の間（3号館7階）



河野 一郎 氏  
日本スポーツフェアネス推進機構代表理事  
東京2020競技大会組織委員会副会長  
元日本スポーツ振興センター理事長  
筑波大学名誉教授



宇田 秀生 氏  
東京2020パラトライアスロン  
銀メダリスト



富川 理充 氏  
日本トライアスロン連合パラリンピック対策チームリーダー  
専修大学商学部教授



久木留 毅 氏  
ハイパフォーマンススポーツセンター  
国立スポーツ科学センター長  
専修大学文学部教授



インタビュー  
森中 直樹 氏  
NHK シニアアナウンサー

東京2020は日本の未来に何を遺したのか  
～2度の招致活動と東京2020のレガシーを追求する～

専修大学スポーツ研究所 (SUIS) では、「オリンピックのレガシー」をキーワードに、2008年から2020年までシンポジウムを開催してきた。本年、COVID-19のなかで、1年延期となった東京2020が開催された。そこで、これまでの2度の招致活動と東京2020の開催を振り返り、これまで議論されてきたレガシーについて追考し、日本スポーツの未来像について考えてみたい。

【講演】55分（講演30分、インタビュー応答15分、参加者質疑応答10分）15:05-16:00  
「東京2020は日本の未来に何を遺したのか ～2度の招致活動と東京2020のレガシー～」  
河野 一郎 氏（日本スポーツフェアネス推進機構代表理事、東京2020競技大会組織委員会副会長、筑波大学名誉教授）  
インタビュー：森中 直樹 氏（NHKシニアアナウンサー）

【ディスカッション】60分 16:05-17:05  
テーマ「東京2020は日本スポーツの何を変えたのか」  
コメンテーター：  
久木留 毅 氏（日本スポーツ振興センターHPSC/国立スポーツ科学センター長、専修大学文学部教授）  
富川 理充 氏（日本トライアスロン連合パラリンピック対策チームリーダー、専修大学商学部教授）  
宇田 秀生 氏（東京2020パラトライアスロン銀メダリスト）  
インタビュー：森中 直樹 氏（NHKシニアアナウンサー）

【協 力】専修大学文学部ジャーナリズム学科

◆参加をご希望される方は、以下にお問い合わせください

問い合わせ：専修大学スポーツ研究所 044-911-1032 sports@isc.senshu-u.ac.jp

東京2020は  
日本の未来に何を遺したのか

2度の招致活動と東京2020のレガシーを追求する

